

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)

NEDO プロジェクトを核とした人材育成、産学連携等の総合的展開／
研究開発型スタートアップ支援人材の養成に係る特別講座

受講生募集要領

応募申請書提出期間：

2023年8月8日(火)～8月30日(水) 正午(必着)

研究開発型スタートアップ支援人材の養成に係る特別講座 NEDO Technology Startup Supporters Academy（通称：SSA） 受講生募集

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下「NEDO」という）は、研究開発型スタートアップ支援人材育成プログラム NEDO Technology Startup Supporters Academy（以下、SSA プログラムという）を実施します。この育成プログラムの受講を希望される方は、本募集要領に従い応募してください。なお、本事業のスケジュールや講義内容等、実施内容の一部は、募集終了後に変更される場合があります。

I. 件名

「NEDO プロジェクトを核とした人材育成、産学連携等の総合的展開／研究開発型スタートアップ支援人材の養成に係る特別講座」に係る受講生の公募

II. 事業概要

II-1. 背景・目的

研究開発型スタートアップは、先端技術の社会実装や事業化を通じてイノベーション創出の担い手となることが期待されています。スタートアップエコシステムの構築・底上げによって研究開発型スタートアップの設立や成長を後押しし、それらの数と質を共に高めていくことは、日本の産業競争力の強化に繋がります。

しかし、日本では、技術面と事業経営面の両面に長けた研究開発型スタートアップは多くありません。研究開発型スタートアップの設立や成長を妨げている要因の1つとして、研究シーズの事業化に対する深い知見に基づきスタートアップの活動を伴走支援できる支援人材の不足が挙げられます。公的機関には、支援人材を目指す方の成長を促し、支援人材の質やパフォーマンスの向上を図る機能や、支援人材の増員を支援する機能を強化することで、支援人材による支援をスタートアップが身近に享受できる環境の整備が求められています。

このような状況のもと、NEDO は、スタートアップエコシステムの構築に向けて、支援人材に求められるマインドセットや、広い知見、スキルを有し、研究開発型スタートアップの創出から成長を伴走支援できる中核的な支援人材を育成するために、2017 年から SSA プログラムを実施しています。今回、2023 年度 SSA プログラムの受講生を募集します。

Ⅱ-2. SSAプログラムで養成を目指す支援人材

SSAプログラムでは、以下の「養成方針」に基づき、研究開発型スタートアップの支援人材に求められるマインドセットや知見、スキル等の習得、およびネットワークの構築に向けた研修を行います。これにより、「目指す支援人材像の例」に示す、バランスの取れた支援人材の養成を目指します。なお、研究開発型スタートアップの支援は多岐に渡り、研究シーズの技術分野や成長ステージによって、支援人材に必要とされる知見やスキルは異なります。SSAプログラムは、特定分野の専門知識の深掘りではなく、網羅的な知見やスキルの提供を目指しています。

<養成方針>

■ マインドセット

スタートアップ・ファーストの意識および支援に対する情熱・責任感の醸成

■ イノベーションやエコシステムに関する知見の獲得

イノベーションに関する基礎的知見（方法論や考え方等）の獲得
スタートアップエコシステム形成に向けた知見（取り組み）の理解

■ スタートアップ支援スキル

研究開発型スタートアップの支援に必要なスキルの養成
関連政策や施策等の理解とそれらを使いこなすためのスキルの養成

■ 人的ネットワークの構築

受講生や修了生、SSA講師等との交流を通じた、支援人材間の相互補助ネットワークの構築

<目指す支援人材像の例>

- 研究シーズの掘り起しから事業化までの幅広い知見を持ち、良質な人的ネットワークを活用しながら必要な支援を提供できる人材
- 研究開発型スタートアップと同じ目線で伴走支援することができる人材
- イノベーション創出環境のデザインやプロデュース、現場課題の改善を主体的に担おうとする人材

II-3. 実施内容

(1) 開講研修

日程：2023年10月23日（月）A.M.～10月25日（水）P.M.

場所：ステーションコンファレンス川崎（神奈川県川崎市幸区大宮町1番地5）

内容：研究開発型スタートアップの支援人材として活躍するために必要なイノベーションに関する基礎的知識や、スタートアップの経営・支援に関する方法論、伴走支援スキルやマインド、そして我が国のスタートアップエコシステムに関する諸知識などについて、座学やディスカッション、ワークショップ等で学んで頂きます

(2) On the Job Training（以下、OJTという）研修

日程：（1）開講研修後、3～4ヶ月間程度

場所：現地もしくはオンライン（メンタリングの実施方法およびイベントによって異なります）

内容：NEDOが実施する研究開発型スタートアップ向けの助成事業（NEDO Entrepreneurs Program；以下「NEP」という）のメンタリングや、スタートアップピッチイベント等に参加して頂きます。スタートアップに対するサポーターの一人としてのメンタリング同伴や、ピッチの聴講等を通じて、研究開発型スタートアップに対する支援の現場を体験して頂きます。メンタリングは1回/月程度の頻度でオンライン等を併用して開催され、1回あたり1～2時間程度の予定です。これらを通して学んだことを、所定のフォーマットで月報として提出頂きます。

(3) 合宿研修

日程：2023年11月15日（水）P.M.～11月17日（金）P.M.（2泊3日）

場所：鶴岡サイエンスパーク周辺（山形県鶴岡市覚岸寺字水上246-2）

内容：鶴岡サイエンスパークは、山形県や鶴岡市からの行政支援をベースに、大学、民間企業、市民を巻き込みながら発展を続け、今や世界が注目するバイオ系スタートアップの一大拠点となっています。合宿では、サイエンスパークの発展の過程や、エコシステムの構築に向けた取り組み等を学ぶと共に、サイエンスパーク内の研究所から生まれたスタートアップのCxO（Chief x Officer）による講義や、SSA講師と受講生間のディスカッションを通じて、研究開発型スタートアップに対する支援人材としてのマインドセットを醸成します。なお、現地の関連企業の見学会等も実施します。※合宿研修中の宿泊先は事務局が指定します。

(4) 地域エコシステム研修

日程：2023年12月15日（金）A.M.～P.M.

場所：京都市サーチパーク（京都府京都市下京区中堂寺南町134）

内容：（1）と同様。特に地域エコシステムについて学んで頂きます。

(5) 修了研修

日程：2024年2月8日（木）A.M.～9日（金）P.M.

場所：Kawasaki-NEDO Innovation Center（神奈川県川崎市幸区大宮町1310）

内容：（1）と同様。OJT研修で学んだ事についてのチーム別報告会も実施予定です。

SSAプログラムは、下記（1）～（5）の内容で実施する予定です。（1）、（3）～（5）の研修は基本的に現地にて受講頂くことを想定しておりますので、日程の確保に十分ご留意の上でご応募下さい（不参加の場合は、後述の修了要件に影響しますのでご注意ください）。

(ご参考) 2022 年の研修内容 ※2023 年度の研修内容は一部変更の可能性あります。

時期	講義タイトル	領域
開講研修	我が国のベンチャー・エコシステムの様相と課題	マインドセット
	アントレプレナーシップ支援論	マインドセット
	イノベーション支援人材のキャリア開発	マインドセット
	スタートアップ・アクセラレーション論	マインドセット
	エクスポネンシャル・テクノロジー思考論	イノベーションやエコシステムに関する知見
	イノベーション・デザイン思考概論	イノベーションやエコシステムに関する知見
	技術社会実装論	イノベーションやエコシステムに関する知見
	海外スタートアップエコシステム	イノベーションやエコシステムに関する知見
	テクノロジースタートアップの知財戦略・マネジメント	イノベーションやエコシステムに関する知見
	イノベーション6つの方法	イノベーションやエコシステムに関する知見
	スタートアップの資金調達と資本政策（基礎編）	イノベーションやエコシステムに関する知見
	ベンチャーエコシステムデザイン戦略	イノベーションやエコシステムに関する知見
	ベンチャー産業政策概論	スタートアップ支援スキル
	公的創出支援の取り組みと制度活用	スタートアップ支援スキル
	研究開発型ベンチャーのメンタリング	スタートアップ支援スキル
合宿研修	鶴岡市の政策紹介	イノベーションやエコシステムに関する知見
	鶴岡サイエンスパーク、鶴岡発ベンチャー企業の紹介	イノベーションやエコシステムに関する知見
	起業家講演（4社）	マインドセット
	SSA合宿についての想い	マインドセット
	ラボツアー、ナイトディスカッション	マインドセット
	鶴岡市の伝統文化について	マインドセット
	特別講座～鶴岡の起業家精神を学ぶ～	マインドセット
地域 エコシステム 研修	科学技術ビジネスプロデュース論	マインドセット
	地域のスタートアップ・エコシステムの展開	イノベーションやエコシステムに関する知見
	スタートアップエコシステム施策の取り組み	イノベーションやエコシステムに関する知見
	地域・地方活性化とベンチャー・エコシステム	イノベーションやエコシステムに関する知見
	オープンイノベーション戦略（概論）	イノベーションやエコシステムに関する知見
	異能の掛け算～0→1のビジネスディベロップメント	スタートアップ支援スキル
	スタートアップのバリエーションと資本政策の考え方（演習編）	スタートアップ支援スキル
修了研修	研究開発型ベンチャーのE x i tと伴走支援の視点	マインドセット
	大企業のイノベーション創出事例とその人材態様	イノベーションやエコシステムに関する知見
	地域・自治体の起業エコシステム構築	イノベーションやエコシステムに関する知見
	インキュベーター・マネジメント論	スタートアップ支援スキル
	スタートアップのレジリエンスマネジメント	スタートアップ支援スキル
	研究開発型スタートアップのチームビルディング	スタートアップ支援スキル
	研究開発型スタートアップの外部資金公募攻略	スタートアップ支援スキル
	メンタリング支援の実践	スタートアップ支援スキル

Ⅲ. 応募要件等

Ⅲ-1. 応募要件

SSA の受講生は、(1)～(5)に示す条件の全てを満たす個人とします。なお、受講期間中に下記の要件を満たさない状況が発生した場合、事務局の判断によって SSA プログラムの受講資格を失うものとします。

- (1) SSA プログラムの受講を通して知り得た企業情報や、企業及び講師等から提供された技術情報、営業秘密情報及び個人情報について、秘密保持情報管理を順守することができる日本の居住者である者（ここで言う居住者とは、外国為替及び外国貿易法（昭和 24 年法律第 228 号）（以下「外為法」という。）の居住者（特定類型該当者を除く）であること。）、また NEDO が指定する秘密保持情報取扱係の書類に署名できる者。
- (2) NEDO 及び各種研修実施先において、公序良俗に反しないよう、安全上及び衛生管理上の措置に従い、順守できる者。
- (3) SSA プログラムに適切に参加できる者。プログラム中の講義やワークショップにおいて、他の受講生と協力して必要な課題の提出やワーク等を行い、円滑なプログラム運営に協力・貢献できる者。（必要に応じて所属機関から受講の承認を得ておくこと）
- (4) SSA プログラム実施期間中および修了後において、受講や運営に必要な各種連絡、アンケートに対して適切に対応できる者。また、SSA プログラム受講生の連絡先等については、NEDO 等のスタートアップ支援制度やイベント等のお知らせ等を目的に、NEDO および運営委託事業者が管理・利用することに同意する者。
- (5) 暴力団排除にあたって、現在および将来にわたり下記の項目に該当しないことを誓約する者。
 - ① 法人等（個人、法人又は団体をいう。）が、暴力団（「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 2 号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）であるとき又は法人等の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。）が、暴力団員（同法第 2 条第 6 号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であるとき。
 - ② 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき。
 - ③ 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき。
 - ④ 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれと社会的に非難されるべき関係を有しているとき。

Ⅲ-2. 応募に関する重要事項

- (1) SSA プログラムの費用負担について

受講費用は**無料**です。

但し、各集合研修や合宿、OJT 研修参加のための交通費、宿泊費および飲食費は受講生のご負担となりますので予めご了承下さい。なお、合宿研修時の会場移動費、見学費等は事務局が負担する予定です。

- (2) その他の留意事項

地震・台風等の自然・交通災害、講師の急病等、他やむを得ない事情が発生した場合等、事務局が必

要と判断した場合、当プログラムの一部もしくは全部について、遅延、中断、延期をさせて頂く場合があります。

(3) 秘密情報保持および各種情報取扱義務について

受講に際し知り得る可能性がある、公にされない技術情報や事例や研究開発型スタートアップの企業の営業秘密等に関する事項について、受講開始時に、「秘密保持に関する覚書」に署名し提出を頂きます。

IV. 応募方法

IV-1. 提出期限及び提出先

本募集要領に従い、以下の提出期限までに、「応募申請書の PDF ファイル」を所定フォームからアップロードしてください。郵送、直接持参・FAX による提出、不備のある応募書類、期限を過ぎての提出は、原則として受け付けませんのでご注意ください。

(1) 提出期限： **2023年8月30日（水）正午まで（必着）**

(2) 提出先提出先： Web 入力フォーム

https://app23.infoc.nedo.go.jp/koubo/qa/enquetes/ssa_student2023

IV-2. 応募申請書の作成

(1) 所定の応募申請書（Excel ファイル）に記入し、PDF に変換したものを作成してください。PDF 変換時は 2 ページのファイルとなっていること、文字化けや切れ漏れ等がないことを十分ご確認の上ご提出ください。

作成した PDF ファイルにパスワードはかけないでください。

(2) 応募の動機や研修終了後のビジョン・目指すキャリアは、記載欄に収まる範囲で適宜フォントサイズを変更して作成してください。（記載形式は自由）

(3) 申請書は日本語で作成してください。

(4) 写真データは、応募時から 1 年以内のもの（jpg. gif. png.等）を用い、画像を申請書に画像形式で貼り付けてください。

(5) 日中に連絡の取れる連絡先（TEL、E-Mail）を必ずご記載ください。

(6) 応募資格を有しない者の申請書、又は不備がある申請書は受理できません。

応募書類に不備があり、提出期限までに修正できない場合は、応募無効とさせて頂く場合があります。

IV-3. 応募情報の取り扱い

応募に際し、申請書等に記載された個人情報、事務局業務として必要な範囲で NEDO の事務委託先に共有されます。このとき、SSA 応募や通知、受講等の運営など、必要な範囲にのみ利用され厳重に管理されます。

またアンケートや特定の個人を識別しない状態に加工した統計資料等に利用することがあります。応募の個人情報は上記目的以外で利用することはありません。（法令等により提供を求められた場合を除く）

V. 選考

V-1. 受講生数：40名程度（予定）

V-2. 受講生の選定

（1）選定の観点について

申請書の内容について、下記の観点から書面審査および面談審査を行い、総合的に判断・審査した上で、受講の可否を決定します（選考・審査に関する問い合わせには一切応じかねますのでご了承ください）。

① 経歴

これまでの経歴や業務経験、専門分野など
（スタートアップ支援経験の有無は参考にします。未経験の方は、受講の必要性や動機等で総合的に審査しますので、ご応募可能です。）

② 人物像（志望動機・理由等）

研究開発型スタートアップに対する支援にかける情熱や、「支援人材」として必要とされるリーダーシップ、コミュニケーション力、協調性、思考の柔軟性、スタートアップエコシステム構築への貢献意欲など

③ 受講環境

研修参加日程の確保（不参加可能性の程度）など、応募申請書面の「確認項目」の承諾有無

（2）書類審査、面談審査について

書面審査および面談審査（オンライン）の2段階審査を予定しています。

書面審査通過者には、9月11日までに面談日程調整のご連絡を差し上げますので事務局からのご連絡をお待ち下さい。

<面談審査期間（予定）>

2023年9月12日（火）～9月14日（木）（予備日 9月15日（金））

（3）受講生決定に関する通知について

① 応募結果の通知について

9月下旬に E-Mail にて、事務局から各応募者宛に審査結果を通知します。 ※WEB 等での公表は行いません。採択となった方はメールに記載の期日までに受講の意思をご返答ください。

② 受講の採否に関する理由については、お問い合わせ頂いても**原則、非公表**としますのでご了承ください。

③ 受講が決定した方には、10月上旬頃に開講研修（23年10月23～25日）のプログラムや自己紹介シートの作成依頼などのご連絡を差し上げます。事務局からの連絡にはご注意のうえ、受講準備を進めて頂きますようお願いいたします。

VI. 修了要件

下記 4 つの要件を全て満たした受講生について、SSA プログラム事務局が個別に審査した上で修了生を決定し、NEDO が修了証を発行します。

【要件 1】以下の座学研修について、総講義時間の 8 割以上を受講していること

開講研修：2023 年 10 月 23 日～25 日

地域エコシステム研修：2023 年 12 月 15 日

修了研修：2024 年 2 月 8 日～9 日

【要件 2】合宿研修（2023 年 11 月 15 日～17 日）に参加していること

【要件 3】メンタリングに 3 回以上参加していること

【要件 4】OJT 研修期間中、所定の月報を期日までに提出していること

尚、SSA 修了生に対しては、NEDO の認定するスタートアップ支援人材としてのご登録、NEDO ページ内（https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP2_100114.html）にて氏名と所属機関の掲載、修了生コミュニティ（アルムナイ）等をご案内する予定です。

Ⅶ. よくあるご質問

Q1. 新型コロナ等、感染症の状況によって変更される事項はありますか？

A. 政府および開催地域の方針に基づき、実施形態が変更される可能性があります。

Q2. 現地での受講は必須ですか？

A. 開講研修・合宿研修・地域エコシステム研修・修了研修は、Q1 の状況を除き、基本的に現地開催とし、実施会場へご来場頂く予定です。

やむを得ない理由により、研修の一部を離席される場合は、事前に事務局へご相談下さい。

Q3. OJT 研修期間について、所要時間や負担はどの位でしょうか？

A. OJT 研修は「メンタリング」と「スタートアップに関するピッチやセミナー」等へご参加頂く予定です。

「メンタリング」は1ヶ月あたり1回程度の頻度で開催され、1回当たり1～2時間程度の予定です。実施日程や実施形態（対面もしくはオンライン）は事業者（スタートアップ）とカタライザーのご都合に応じて決定されますが、対面開催の場合も必要に応じてオンラインハイブリッド開催と致します（費用負担は、発生しない予定です）。また、必ずしも毎回ご参加頂く必要はございません。修了研修までに所定の参加回数を満たさない場合は、修了研修後に開催されるメンタリングに参加して頂き、修了要件の参加回数を満たした時点で修了認定致します。

「スタートアップに関するピッチやセミナー」は個々に異なりますが、基本的に現地・オンラインハイブリッド開催、1回あたり2～3時間程度を予定しています。

月報では、OJT 研修の実施内容等について、所定のフォーマットに基づき作成のうえ、事務局に提出して頂きます。これらに従事いただく時間は、1ヶ月当たり10時間を越えない程度です。

Q4. 次回以降のSSA研修予定は決まっていますか？

A. 2023年度（2023年4月～2024年3月）の研修は、本公募1回のみです。2024年度は2回の研修（2024年4月頃開講、10月頃開講）を実施予定です。